

新編水滸畫傳

七編

十

21
875
70



門 875
號 70
卷

新編水滸画傳卷之七拾

東武 高井蘭山翁 譯編

明治三十二年
十月十日

○宋公明大は幽州に叛入
笑統軍の合戦宋公の勢を以て務むと料知遂は一回
西門の辺に結し知ふ又双槍の童平小遇と一陣を破る
走く南門の辺に結し知ふ宋公待交く又一陣を破りけり
救く城中に入ると宋公は倚く正北の方より二三里を
つくと公は折節を面より一處の守馬兵如法に山黄竹の
笑統軍小討くゆる笑統軍は驚く子と指す及びは遂は
既と破るに去るに倒れしを以て遂に逃るに如く揚雄は
右より躍り出れり笑統軍と湯倒し郷人とせし如く宋公は

新編水滸画傳卷之七拾

擣く遊軍あるを以て又法政の終末と事遊軍しる揚雄不秀
 人中小忠く。法務必と功と事ひ。義軍と擣んとあへばい今
 賢統軍と教せんふ志しとて。遊軍と統軍を礼陰と教しし。り。
 速の兵其の人物と付せ力と為し。若給擣くと四面八方を奪ませ
 り。右真猪のいなる統軍が奪まを在任在任は奪まを奪まを奪まを
 叙方亦負くると必強んを奪まは知と為りんとて。三軍お知しと紅
 旗と山の後より引せ世別信好とせよ。あはれ逃走する事今在り
 くるけるが叙方の紅旗を奪まええとせしる。知らん中へ旗を引く
 山の背後より引せ。宋江の叙方あるとせん。あはれ收び。自三軍
 と叙して遊軍城は地の芝翫の百姓と接く軍を奪まを奪まを奪まを
 若と擣みよれ。魏樞密と蘇州の後より軍の叙方いふを

幽州ふく昔は叙と攻べしとて叙し。又副の海軍備義のいふと分
 く。擣み城を奪し。魏樞密の叙方擣れとせしとせしとせしとせしと
 即日表と叙く。朝廷は叙しける。叙方の速まは日宝殿に往し。左
 丞相幽西索謹右丞相大伴清堅。亦統軍の法大將未。悉く集あ
 る儀しる。宋江は己は法大將口宣と奪ひ。今又幽州と叙しとて
 是れ。彼必務ふ。我は東京と攻べし。及や統軍は元。今
 く付死し。叙方の兵を擣散す。勢己は微り。汝ら文武の群臣。
 何等の計をぬく。宋江と叙しんや。時は統軍元叙方と出く
 奏しん。我は必と愛ひんとせし。是れ。自今奪向せん。叙し
 くれ。統軍お擣くられ。却て叙し猪と叙し。汝ら奪まを奪まを
 叙く。法政の軍を擣し。一戦と勵し。主知は宋江と擣し。我

とらふるかん
大遼の兀顔
光大元帥の
命と家



こうたけし
公孫勝
兀顔
とらふるかん
命と家



べ。又款將孫などの士に、く、我とせんことをば、自然と
 退くことありん。宋江は、く、後、一魁の人も、城、
 と去と十里うして、方山と云、知、く、九、八卦の陣と列、
 款の、く、遠の、く、早、
 早、
 持、
 却、
 馬、
 が、
 一、
 軍、

と欺んとすること。我、
 宋、
 と張、
 これ、
 奇、
 と、
 汝、
 の、

壽を退るるに完り。陣中よ悲ひつらん。軍師が軍中よ妖法を以て
在り疑わす。任他一筋と破く。悲しと。法軍とよの噂を叫ぶ
破く如し

○呼延灼力番將と擒め

知る知よ一人の大將。出た大將。呼く云らるる。其の孺子。汝
何ぞ逃人とすや。兀朮延壽これと。怒り。陰と捕く戦人を
せし知よ。彼大將の歎と。眉間と。眉間で。あくる。兀朮延壽
元來眼明く。しと。子。彼と。勇力士なれば。あくる。陰と。ぬく。圍住。御人
と。これ。彼大將。又二の歎と。一は。揮く。捨の柄と。おたり。兀朮
延壽。これと。牙と。嗔と。あよ。腰力と。接人と。せし。知よ。彼大將。あよを
と。入く。兀朮延壽と。扱のり。よ。扱と。逐る。常と。掛ふけり。び大將。けり

双鞭呼延灼なり。兀朮延壽がませ。逃出へ。は。ゆも。あくる。り。七く。あ
皆ふと。り。り。海系せり。政よ。今。陣中。お。水。火。並。び。起。て。人。目。と。焦。せ
けら。ん。は。皆。は。孫。緒。が。法。と。ひ。ひ。小。固。く。こ。孫。緒。故。の。故。ま。ら。る。を
こ。法。術。と。收。め。られ。ば。陣。中。勿。ち。静。く。喜。び。喜。天。白。日。な。り。は。時
を。喜。ぶ。難。く。と。李。令。官。各。一。子。の。軍。を。と。引。く。兀朮延壽が。消息。と
待。く。居。れ。せ。ず。未。だ。何。等。の。音。耗。も。あ。ら。ず。只。只。と。勅。へ。く。款。陳
と。屋。々。如。よ。宋。江。陣。前。に。出。て。さ。ら。な。り。は。あ。い。人。あ。く。も
と。り。り。海。系。せ。よ。兀朮延壽。は。こ。や。我。も。よ。生。殺。ま。く。茲。も。あ。り。汝。ら
よ。く。これ。と。ん。よ。と。も。兀朮延壽。と。も。よ。小。子。小。郷。と。陣。前。に。引。せ
け。ま。い。あ。ま。い。を。お。こ。れ。と。ん。と。ん。恨。骨。髄。を。傲。し。只。一。騎。陰。と。枕。く。延。壽
と。奪。ひ。復。さ。ん。と。叱。ま。る。宋。の。軍。中。よ。霹。靂。火。秦。明。復。牙。將。と。捕

の東に倭人。双陰の董平は西南に倭人。青面獠揚志は西北に倭人。宋
江中軍とあり。その後の法は各々職を修め、後には又歩
軍とあり。一隊と役けたり。唐後義魯智深武松は二人と首と
く。数字の精を倭へ寄ると、唐と接し、故の玉と待免けり。

○新統軍臨混天の象と列

遼國の新統軍兀朮克出軍の配とたるとして、法大將と集ると
分くを倭と儀とを。法大將の名は、後には十一曜の大將と
右陽星 卯才大王 耶律得重 兵六子と列と
右陰星 天壽公主 答里孛女 兵五子と列と
右羅喉星 白皇姪 耶律得業 雄兵三子と列と
右計都星 皇姪 耶律得義 雄兵三子と列と

紫志星	皇姪 耶律得忠	雄兵三子と列と
月孛星	皇姪 耶律得佐	雄兵三子と列と
東方 青帝	木星 大將 只兒拂布	兵三子と列と
西方 太白	金星 大將 烏利可安	兵三子と列と
南方 熒惑	火星 大將 洞仙文業	兵三子と列と
北方 玄武	水星 大將 曲利出清	兵三子と列と
中央 德星	土星 上將 統軍 兀朮克	お死をてりし將
角 木 蛟 孫志	亢 金 龍 張起	氏 土 貉 劉仁
房 日 兔 謝武	心 月 狐 裴直	尾 火 虎 顧永貞
箕 水 豹 賈茂	斗 木 獬 蕭大觀	牛 金 牛 薛雄



とうきん
 遠の大軍
 混天の陣
 を布く

今元親小將軍を送り遠くへ。あく李達とぬく。是より引換之
 後雄と交す。元親統軍。はとて。子達李達と陣お
 小送り。おし。けま。事江。あより。元親小將軍と返し。互に
 陣し。各陣中。は入る。け日。あ軍。之。戦。と。な。び。を。お。し。
 引返。を。共。は。お。し。と。退。け。り。お。し。と。も。事。江。い。ま。と。天。子。の。幸。後
 と。事。江。の。州。郡。と。切。お。奉。云。の。あ。ん。い。あ。り。し。れ。す。自。親。の。大
 軍。小。将。と。事。江。再。び。法。ね。と。儀。し。と。云。け。る。の。遠。の。勢。浩。大。し。を。彼
 と。破。ん。計。あ。り。と。我。涼。く。これ。と。憂。て。日。と。夜。る。と。年。の。正。い。う。さ
 る。中。更。に。と。以。て。う。款。と。退。け。ん。や。法。ね。の。計。あ。ら。速。に。け。り。又。時
 又。呼。延。物。と。し。て。出。て。云。け。る。我。們。明。日。十。隊。の。軍。を。と。命。ら。あ。け。り
 奔。向。し。快。く。一。戦。と。交。す。事。江。云。我。等。法。ね。の。力。の。と。を。お。し

と。必。と。心。血。と。ら。し。て。戦。ひ。の。人。と。と。己。を。儀。は。回。し。け。る。如。し。吳
 用。これ。と。傳。て。云。我。等。己。の。あ。度。す。と。款。と。お。ん。と。款。し。て。自。ら。破。れ
 と。お。し。り。あ。り。と。先。堅。を。小。陣。と。し。り。款。の。あ。る。と。傳。く。一。戦。と。お。ん
 ろ。人。の。あ。り。お。し。親。方。より。款。と。お。ん。と。あ。り。と。却。り。と。お。し。り。事
 江。云。款。の。あ。る。と。傳。く。一。戦。見。る。親。方。必。と。案。と。決。ま。す。と。務。利
 と。お。し。と。難。く。ん。法。ね。の。力。と。儀。し。と。款。陣。と。攻。ん。と。何。を。只。観。負
 る。と。の。と。あ。り。ん。や。軍。陣。必。と。ん。と。安。し。り。人。と。を。即。時。に。二。軍。に
 号。令。を。傳。へ。用。を。と。個。へ。し。り。あ。り。日。と。十。隊。を。傳。へ。と。あ。け。り
 推。お。の。ま。は。混。天。象。の。陣。中。に。突。き。入。喊。を。叫。ん。ど。攻。戦。へ。の。ら。如
 小。砲。の。聲。陣。中。に。起。り。四。七。二。八。門。一。度。お。か。れ。て。夕。に。長。地。の
 陣。を。お。し。り。遠。の。云。々。と。皆。機。を。案。し。と。一。日。を。攻。て。出。軍。の。と。と。さ



宋遠互ふ
 陣前
 生捉
 取換る



龍
 窓

新編水滸畫傳卷之七拾

十八

んぐ小撃しふ。東江にぐるるを、おとす。措か乃、大ふがきて、東西
 又、毒きし。這くの律も、幸、海に逃入る。計、討まらる。兵、數と
 知、ぐ。大、東江に三軍、小、命、し。濱、と、城、柵、と、設、し。山、口、の、陣、と、營、
 壘、小、中、し。巨、春、の、砲、と、侍、く。再、ひ、戦、ん、と、争、り、る。趙、樞、密、の、表、
 と、朔、人、使、去、と、於、小、を、し。法、軍、勢、の、衣、被、お、と、求、め、ら、る。小、信、て、計、
 度、胡、廷、より、鄭、州、の、圍、練、使、王、文、斌、よ、東、系、八、十、万、禁、軍、教、頭、一、
 人、と、お、召、て、衣、被、お、の、物、と、東、江、に、陣、中、に、送、り、め、ら、る。折、け、王、文、
 斌、と、中、考、の、文、武、武、系、今、く、智、勇、受、侍、り、系、系、五、名、の、長、お、た、り、計、
 時、王、文、斌、勅、命、と、な、つ、く。一、萬、餘、人、と、然、し。二、百、枝、の、車、小、衣、被、と、
 載、く。こ、ま、と、氏、主、不、推、せ、東、系、と、奔、走、し、く。只、觀、を、と、け、ま、り、不、
 日、小、送、庭、に、列、く。趙、樞、密、よ、ま、ま、と、列、に、文、と、送、し。勅、命、の、勢、述、

られ、趙樞密を、と、て、大、小、收、ひ、王、將、軍、來、り、め、ら、る。莫、老、の、章、
 たり。今、東、系、之、將、遠、の、元、款、統、軍、が、軍、小、數、陣、と、破、り、と、言、り、傷、の、
 老、と、と、な、り、け、た、は、東、系、之、將、先、之、戰、と、息、く。永、濟、縣、の、邊、に、陣、と、
 列、し、法、將、於、く、憂、小、逼、る、の、王、文、斌、が、胡、廷、今、來、と、言、り、た、
 ま、ひ、く、法、軍、小、信、從、し。早、く、務、と、お、ん、と、を、告、じ、め、ら、る。趙、樞、密、
 數、度、放、お、ら、る。乃、び、東、系、將、を、圍、く。計、と、奏、せ、ん、や、杖、お、た、
 り、と、い、へ、ど、却、り、討、り、ぬ、る。書、を、侍、り、く。田、將、陣、法、と、曉、せ、り。
 之、軍、將、よ、お、て、減、計、と、能、し。東、系、之、將、の、乃、小、救、て、憂、と、お、り、七、
 知、り、相、之、の、言、え、ら、い、る。趙、樞、密、これ、と、言、く、大、小、收、ひ、子、速、酒、
 意、を、役、く、王、文、斌、と、答、復、し。兵、小、法、の、軍、を、亦、あ、も、酒、肉、と、以、
 く、老、し、ら、る。王、文、斌、彼、二、百、枝、小、載、し、衣、被、お、と、東、江、に、陣、中、に、

新編水信書傳卷之七

十六

送り。徳軍勢より支人と儀しけり。趙樞密使使者とてけしと
 と宋のよき知らせむ。宋のけし消息を聞く。收ひ斜にけり。宋人
 と死て王文斌と軍中より近へ入りし。宴を具く。懇懇に相待
 けり。王文斌の戦の事と伺し。宋のよき知らせを云ふ。宋の朝廷の勅令と
 なりし。けし知りし。天子の幸福と托んで。四つの大勅と交知し。今已
 り。幽州よりけり。けし。元統軍混天象の陣と列の二十万の
 大軍と備へ。遠王と徳と自ら出御し。しめり。宋の軍勢と破ら
 れ。多く人をも失ひ。戦と息なく。宋の陣とあるの
 り。今日本軍の陣と宋の陣と交り。りる。宋の天子の
 幸が。宋の朝廷のよき知らせと云ふ。宋の天子王文斌が。混天
 象の陣のよき知らせと云ふ。宋の天子と云ふ。宋の天子と云ふ。宋の天子と云ふ。

軍勢よりけり。宋の陣と破ら
 れ。多く人をも失ひ。戦と息なく。宋の陣とあるの
 り。今日本軍の陣と宋の陣と交り。りる。宋の天子の
 幸が。宋の朝廷のよき知らせと云ふ。宋の天子王文斌が。混天
 象の陣のよき知らせと云ふ。宋の天子と云ふ。宋の天子と云ふ。宋の天子と云ふ。

と云通俗水滸傳よひ春混天象の珠と布処と茶紡車星と云
 星の傍と又東北と云るおみは家無星と云と天と云人換と云
 と云の傍りの傍と云るおみは家無星と云と天と云人換と云
 知い天象の表よりそ凡お星穴星土星金星水星と云緯の星と云
 法星の別と云る又又羅喉計が案と月字と四條と云天文の書も明
 細く冠山子と云るおみは家無星と云と天と云人換と云
 一処の月法と云る又又十二曜大日月日月星四條星と云一十二
 北八宿の軍の連なる船来百回卒の八十七面出る知といはる抄書角
 本致強と云北八宿の角星といふおみは家無星と云と天と云人換と云
 古史と云轉宿の中と云るおみは家無星と云と天と云人換と云
 て知ふ

新編水滸畫傳卷之七拾

七編之尾

和漢
 西洋
 書籍賣捌處

神書佛書醫書國史

繪本
 新古賣買

群玉堂
 河内屋
 兵衛

河内屋孫次甫

